



議会だより

# いね

平成27年7月23日

第66号



みどりの秋が楽しみ!

表紙写真/本庄小学校田植え体験

## 6月定例会

|                     |   |            |    |
|---------------------|---|------------|----|
| ■ 平成27年度補正予算        | 2 | ■ 委員会報告    | 9  |
| ■ 平成27年度補正予算質疑      | 3 | ■ 意見書      | 9  |
| ■ 要望・陳情書            | 5 | ■ 議員町内視察   | 11 |
| ■ 町政を問う 一般質問(6人が質問) | 6 | ■ 玉手箱・編集後記 | 12 |

# 平成26・27年度 補正予他算

平成27年第2回定例議会は6月10日から18日までの9日間の日程で開催され、平成26年度補正予算（専決処分）1件、条例の一部改正（専決処分）2件、平成27年度補正予算2件、条例の一部改正3件、その他3件、人事1件、意見書2件を審議し閉会しました。

## 平成26年度 補正予算（専決処分）

| 会計名         | 補正前の額        | 補正額       | 計            |
|-------------|--------------|-----------|--------------|
| 一般会計        | 38億4,703万4千円 | 3,907万7千円 | 38億8,611万1千円 |
| 国民健康保険特別会計  | 5億2,022万4千円  | —         | 5億2,022万4千円  |
| 事業勘定        | 3億4,015万1千円  | —         | 3億4,015万1千円  |
| 伊根診療所勘定     | 1億1,066万9千円  | —         | 1億1,066万9千円  |
| 本庄診療所勘定     | 6,940万4千円    | —         | 6,940万4千円    |
| 簡易水道特別会計    | 1億3,510万0千円  | —         | 1億3,510万0千円  |
| 下水道事業特別会計   | 5億2,621万2千円  | —         | 5億2,621万2千円  |
| 財産区特別会計     | 114万0千円      | —         | 114万0千円      |
| 介護保険特別会計    | 4億5,809万8千円  | —         | 4億5,809万8千円  |
| 保険事業勘定      | 4億5,597万0千円  | —         | 4億5,597万0千円  |
| 介護サービス事業勘定  | 212万8千円      | —         | 212万8千円      |
| 訪問看護事業特別会計  | 2,218万3千円    | —         | 2,218万3千円    |
| 後期高齢者医療特別会計 | 3,836万1千円    | —         | 3,836万1千円    |
| 合計          | 55億4,835万2千円 | 3,907万7千円 | 55億8,742万9千円 |

■歳入  
 ・地方交付税  
 ・基金繰入金  
 △7,859万円  
 9,366万円

■歳出  
 ・財政調整基金費  
 ・減債基金積立金  
 3,907万円

全員賛成で承認

## 平成26年度一般会計 第9回補正予算

■歳入  
 ・町債  
 衛生債  
 土木債  
 消防債  
 教育債

■歳出  
 ・塵芥処理費  
 宮津与謝環境組合負担金  
 ・老人福祉センター管理運営費  
 エアコン取替

1億1,400万円  
 2,030万円  
 1,540万円  
 1,050万円



老人福祉センターエアコン取替



大原バイパス

## 平成27年度一般会計 第1回補正予算

いずれも全員賛成で承認

## 伊根町国民健康保険税条例の一部改正（専決処分）

問 軽自動車税の税率は電気自動車に係るものか。  
 答 この改正は27年度に新たに取得した一定の環境性能を有する軽四輪車等ということで、具体的には電気自動車であれば概ね75%軽減、平成32年度の燃費基準を20%以上上回っている軽自動車については概ね50%の軽減、32年燃費基準を達成した軽自動車については概ね25%軽減するものである。

## 伊根町税条例等の一部改正（専決処分）

平成27年度 第1回補正予算

| 会計名         | 補正前の額        | 補正額         | 計            |
|-------------|--------------|-------------|--------------|
| 一般会計        | 31億2,000万0千円 | 1億6,721万8千円 | 32億8,721万8千円 |
| 国民健康保険特別会計  | 5億3,967万5千円  | —           | 5億3,967万5千円  |
| 事業勘定        | 3億6,027万9千円  | —           | 3億6,027万9千円  |
| 伊根診療所勘定     | 1億921万6千円    | —           | 1億921万6千円    |
| 本庄診療所勘定     | 7,018万0千円    | —           | 7,018万0千円    |
| 簡易水道特別会計    | 1億3,068万1千円  | —           | 1億3,068万1千円  |
| 下水道事業特別会計   | 1億919万4千円    | —           | 1億919万4千円    |
| 財産区特別会計     | 86万1千円       | —           | 86万1千円       |
| 介護保険特別会計    | 4億1,856万9千円  | —           | 4億1,856万9千円  |
| 保険事業勘定      | 4億1,667万5千円  | —           | 4億1,667万5千円  |
| 介護サービス事業勘定  | 189万4千円      | —           | 189万4千円      |
| 訪問看護事業特別会計  | 1,853万2千円    | —           | 1,853万2千円    |
| 後期高齢者医療特別会計 | 3,975万2千円    | —           | 3,975万2千円    |
| 合計          | 43億7,726万4千円 | 1億6,721万8千円 | 45億4,448万2千円 |

全員賛成で可決

- ・道路新設改良費
  - ・亀島本庄浜線大原地内
  - ・非常備消防費
  - ・消防艇庫建設
  - ・学校建設費
  - ・防球ネット、夜間照明等
- 1億1,400万円      1,717万円      1,516万円

質疑

**問** 現在工事中の法面2か所を事前ボーリング調査した担当コンサルタントの判断は、ボルトを打ち込まないと持たないという判断だったのか。それとも打ち込まなくとも大丈夫だという判断だったのか。

**答** 当初は、ボルトを打ち込まなくとも吹付工で大丈夫であろうという設計判断であった。

**問** それを変更ということは、ボーリング調査はしたが、実際掘削してみないとわからないという結果になった。これはコンサルタントの瑕疵だと思うが、それに対して教育委員会はどのような対処をしたのか。

**答** 教育委員会としては、業者の瑕疵には当たらないという判断である。

当初の簡易貫入調査、地表を歩いている調査では、地質が受圧板、鉄筋挿入をしなくても硬い地層のため良いという判断がされ、工事前のボーリング調査の時点でも亀裂が発生して崩壊するということは、考えにくいという判断であった。だが工事が始まり山を切っていく経過の中で、ボーリング調査では大丈夫と判断されていた土層壁が、法面掘削していく中、それまで上にあつた土が削られ圧力がなくなることにより、土中の土層壁が崩れるという状況になった。

**問** 今回の設計変更の結果に対して、例えば1つの工事が終わった時点で第三者委員会の設置を提案したいのだが。

**答** 町長部局の方で協議する。また、L

EDの夜間照明6基の1時間当たりの使用料の予定は。

**答** 伊根中学校周辺を含めた全体の完成は12月末を予定している。主な工事概要と予定は、山切工事、平田川の盛土、グラウンドの舗装などグラウンド全体の整備工事終了後、防球ネット及び夜間照明を設置予定。

夜間照明の使用についての詳細は内部で協議が出来ておらず、今後検討する。

**問** この照明で、テニスコートも全て充分なのか。

**答** グラウンドの照明とテニスコートの照明は別のものであり、テニスコートの照明については周辺にテニスコート専用の照明を設置する。



現在整備中の伊根中学校グラウンド

〔問〕 中学校を住民が使用する際、申込み

に中学校まで行かなければならない。各

公民館に申請書と鍵を置くことは可能か

〔答〕 施設の使用申請の用紙については各

地区公民館に置くことは可能かと思うが、

鍵の受け渡しは学校へ行っていたらかな

ければならない。

〔問〕 テニスコートも完成が延びてしま

う。他のところで練習が出来るような対応を

考えているのか。小学校のグラウンドは、

空いていたから中学生も使うことができ

るが、広さについても問題があると思う。

教育委員会はバスでの輸送であったり、

場所の確保であったり、今現在テニス、

野球は非常にやりにくい環境にある。そ

の辺をどう考えているのか、また、なぜ

こんなに工期が遅れてしまったのか、ど

こに原因があるのか。

〔答〕 クラブ活動の件は、教育委員会とし

て学校が最良とする判断、要望、申し出

があればそれに対し支援を行う形をとっ

ている。全体工事の遅れについては、土

砂災害警戒区域内の工事でもあり、一定

の調整が京都府との間にもあり、それに

時間を要したということも要因になり、

全体的に工期が延びたということである。

〔問〕 管理運用費のシステム使用料292

千円は、具体的にはどのようなものを構

築されて毎月更新されていくのか。7月

からの運用ということなので、ホームペ

ージのデザイン等は決まっているのか。

〔答〕 ホームページのリニューアルについ

ては、表紙が大きく変わっており、もっ

と見やすく、タッチの位置も見直されて

いる。内部協議をし、どういものが一

番見やすいか検討して、ほぼ素案が出来

上がった。今後は、古いシステムから11

月には完全移行を考えており、重複する

期間がある。例えば、すぐにアップした

い記事については、各職員が打ち込むこ

とによってホームページにアップできる

ようになる。

〔問〕 情報発信が強化されるということ

で、大いに賛成したいが、担当課に任され

るとなると情報発信する課と情報発信し

ない課が出てくると思う。今、防災無線の

情報がメールマガジンで配信されている

が、住民懇談会の開催は一切情報が配信

されてこないが防災無線では流れる。ク

マの情報も防災無線では流れるが配信さ

れてこない。担当課によってまちまちで

あり、この辺の情報管理、情報の出し方

の統一を図る必要があると思うが。

〔答〕 配信されていないのは事実であり、

内部で充分検討し、情報発信に漏れの無

いような対応をしていきたい。

〔問〕 人・農地問題解決加速化事業の農業

経営法人化支援事業で3団体という説明

があったが、以前の団体であっても対象

で、おそらく一つは筒川そば、一つはラ

イスセンターの運営会社、もう一つは決

まっているのか、それとも予備として持

っているのか。

〔答〕 もう1団体は、KOMOIKEあす

きの会。

全員賛成で可決

○職員に限りに関する手続き及び

効果に関する条例の一部改正に

ついて

地方公務員法（昭和25年法律第261

号）の一部改正に伴い人事評価を分限事

由に加えるため。

全員賛成で可決

○伊根町介護保険条例の一部改正

について

介護保険法施行令（平成10年政令第

412号）の改正に伴い、平成27年度か

ら平成29年度までの第1段階の保険料率

を軽減する改正を行う。

全員賛成で可決

○伊根町国民健康保険条例の一

部改正について

課税標準額の確定により、乗率等の改

正の必要が生じたため。

全員賛成で可決

○物品購入契約の締結について（小

型動力ポンプ付積載車）

主な装備品だが、今までになく充実

していると思うが今後とも小型動力ポン

プ付積載車の場合はこの装備なのか。

〔答〕 今回の装備品は補助事業の仕様とい

全員賛成で可決



小型動力ポンプ付積載車

うことで、今後については購入時に検討

する。

〔問〕 主な装備品は人命救助をするための

装備だと思いが、詳しい内容は、心

臓の除細動器。救急セットについては、

救急箱。チェーンソーは通常のエンジ

ンの付いたチェーンソー。携帯用コンクリ

ート破壊器具は、災害現場等で倒壊した

建物のコンクリートを破壊する器具。

〔答〕 装備品が入り次第、相当な訓練をし

ないと使いこなせないと思うがその予定は、

具体的な日程はまだ決まってい

ないが、例えばチェーンソーのようなもの

であれば、必要な講習を受ける必要がある

と考えている。

全員賛成で可決

○物品購入契約の締結について（除雪ドーザー5t級）

町道の除雪を実施するにあたり、小型の除雪ドーザーを導入して狭小箇所の除雪及び道路の劣化に配慮した作業を実施するため。

全員賛成で可決



購入予定の同等型ドーザー

○財産区管理委員の選任について

例規の部分で朝妻、本庄及び筒川財産区管理会協議というものは、どういった内容でどういった条文となっているのか。

伊根町例規集に掲載している。  
朝妻地区

岡本藤市・濱野岩生・松本忠夫  
石倉 格・濱野俊一・上山輝芳  
今西勝史

本庄地区

前野春雄・藤原正人・楳野建作  
杉本 康・池田和夫・木村俊次  
坂田一弘

筒川地区

上辻 豊・市井直幸・上野 正  
大泉 繁・大上和夫・和田眞太郎

岡田憲一

全員賛成で可決

○平成26年度伊根中学校グラウンド整備工事（第1工区）変更請負契約の締結について



伊根中学校グラウンド整備事業

伊根中学校グラウンドを整備するため、隣地方面を掘削する工事を実施していたが、掘削を進めたところ調査時よりも地盤の質が悪いくことが判明したため、受圧版を増設し、併せて工事で排出される残土を処分する。

・契約目的

平成26年度伊根中学校グラウンド整備工事（第1工区）

・契約の方法

・契約金額

随意契約（当初契約時は指名競争入札）

・契約金額

5,662万8,720円

（1）当初契約金額

4,186万800円

（2）第1回増額契約金額

1,476万7,920円

・契約の相手

京都府宮津市字窓893番地

有限会社 藤原工業

代表取締役 藤原悦雄

全員賛成で可決

要望・陳情書

地域経済の再生を目指し、最低賃金の大幅に引き上げと中小企業支援強化を国に求めるための陳情書

京都地方労働組合総評議会（京都総評）

議長 吉岡 徹

非核・平和政策に関する要望書

原水禁止国民平和大行進

京都実行委員会代表 吉岡 徹



海の京都博



ウォーターフロント伊根博覧会「ウォーターフロントカフェ」

# 町政を問う

## 6人の議員が一般質問

### 町独自の大学生奨学金制度を創設し定住促進策としては条件整備が必要

#### 創設以前の定住のための条件整備が必要



佐戸 仁志 議員

【問】 少子高齢化が進む伊根町の一番の課題は若者の定住である。町としても農業者、漁業者の就職支援、民宿の開業支援、子育て支援は全国でも先進地となっている。色々手を尽くしても若者の流出は止らない。そこで町独自の大学生奨学金制度を創設し、伊根町に定住すれば返済免除とする定住促進策にはどうか。

【答】 奨学金制度での資金の上のせは本人、親もありがた制度になる。しかしこれが定住促進策となるとは思えず、創設以前の定住のための条件整備が必要である。そうは言っても定住促進策の一方策として検証する。またそれぞれの資格取得者は伊根町の行政運営上において欲しい人材である。欲しくても体制整備ができておらず、今採用予定はない現時点では資格取得にかかるとは言えないが、今後必要と判断される場合、修学資金支援策も検討していく。今、全国の自治体は子育て支援定住促進策で移住者獲得レースに奔走している。こうしたレースは全自治体を巻き込んだ消耗戦となり、共倒れとなる。よくよく考え、我が町の身の丈に合った地方創生を、定住促進策を模索したい。

【問】 近隣市町でも専門職の人材不足が起きている。医師、理学療法士、保健師、管理栄養士、看護師、介護師、土木技師、一級建築士等々様々な人材が不足している。このような専門職を資金面で援助し育成してはどうか。大学教育を目指す若者に経済的な理由で希望の灯りを消さない為、また伊根町に若者を定住させる一助とする為、小人数だからこそ出来る制度と思うが。

【答】 町長 大学生活には授業料だけでなく多くのお金が必要となる。伊根町独自



町独自の奨学金制度を

など地区の労力不足などから草刈りが追いつかなくなっているのが現状。通行の安全の面、景観保全の面、観光客への影響、野生鳥獣の隠れ家になるなどの面から、年2回の草刈りが出来ないか。

【問】 町道で路肩法面の雑草が繁殖し、交通を妨げたり、見通しの悪いところが出来ている。また、車両同士のすれ違いなどでも路肩の側溝が見えず、交差するのが一苦勞という所もある。集落内の町道などは地区民の総仕事などで一年2回以上の管理をされている、集落と集落の間

【答】 町長 本年度より1回の草刈りに加え、ゴミパトロールの方に見通しの悪い箇所を草刈りをお願いしている。今年度の状況を見ながら次年度以降は検討する。

【問】 伊根町の高校卒業までの子ども医療費無料化や、誕生祝い金、保育料の安さ、義務教育の無償化など先進的な子育て支援について、子育て支援事業パンフレットの作成や伊根町入り口に、子育て支援の町など画いた看板を設置するなどして、もつと内外にアピールするべきではないか。



地域での草刈り事業

【問】 町道で路肩法面の雑草が繁殖し、交通を妨げたり、見通しの悪いところが出来ている。また、車両同士のすれ違いなどでも路肩の側溝が見えず、交差するのが一苦勞という所もある。集落内の町道などは地区民の総仕事などで一年2回以上の管理をされている、集落と集落の間

【答】 町長 ホームページなどでも情報発信し、広くPRしたい。合わせて、伊根町で生活できるような、経済面での将来設計が展望出来るよう産業振興など総合的宣伝が必要。町民には子育てに関する意識啓発の推進と情報提供を行い、地域全体で子育てを支える社会の実現を目指す。

### 町道草刈りを年2回に

#### ゴミパトロール時に草刈り



大谷 功 議員

# 訪問リハビリ体制の充実、医療・介護サービス提供のシステム作りは

## あり方を検討



山根朝子 議員

**問** 非常勤ではあるが理学療法士1名が採用され、訪問リハビリが開始されている。利用されている方はとても喜んでいますが今後の訪問リハビリのサービス提供についてどのように計画されているのか。介護認定を受けている方は入退院の情報等はケアマネージャー等に連絡があり退院後のサービス調整などはされていると思われが、介護認定を受けていない高齢者においても適切な医療・介護サービスが滞りなく提供されるシステム作りがされているのか。

サービスの実と基盤整備のあり方を検討する。山積みしている。一日も早い常勤医師の確保と合わせて在宅療養や在宅介護など総合的なリハビリの推進に向けて実現可能な部分から着手できるように進めていく。

**答**（町長）現在週1日の訪問リハビリの体制だが、少しずつ充実を図っていききたい。適切な医療・介護サービスの提供はリハビリに係る部分ではマンパワーをはじめとしたサービス基盤が十分ではない。引き続き、

**問** 常勤医師が不在の現状では限界もあるが、腰痛や腫瘍を持った患者に対して温熱療法や低周波治療などの痛みを改善するための治療ができないか。

常勤医師が不在の現状では限界もあるが、腰痛や腫瘍を持った患者に対して温熱療法や低周波治療などの痛みを改善するための治療ができないか。

**答**（町長）現在週1日の訪問リハビリの体制だが、少しずつ充実を図っていききたい。適切な医療・介護サービスの提供はリハビリに係る部分ではマンパワーをはじめとしたサービス基盤が十分ではない。引き続き、

**答**（町長）診療所で理学療法を実施するに当たっては常勤医師の確保が前提となるほか、施設改修への対応など検討課題



保健センターでのリハビリ

**問** 毎年のこの時期になると小さな畑で家庭菜園を楽しむ多くの地域住民の方から収穫期前にイモ、玉ネギ等の野菜をサル、イノシシに食べられ被害に悩む声を聞く。当町にはサルやイノシシ等、侵入防止の為に専門的な資材を販売している店もなく、なんとか購入出来ても高齢の為に組み立て設置困難な方もいる。民家の近くで家庭菜園をしている方も今後は耕作意欲をなくし耕作放棄地も増えるのではないかと懸念する。何人かのグループで広範囲に鉄柵等の補助や設置は進んでいるが個人には補助がない。家庭菜園をしている方にも効果のある侵入防止資材を自治会を通じ取りまとめ、

当町で購入し安価で配布し、設置困難な場所や高齢の方で組み立て出来ない方などは、シルバー人材センターにお願しい出来るようなシステム作りの考えはないか。

**答**（町長）個々の家庭菜園では交付対象とならない。資材の購入から設置まですべてを町で行うとなると、全ての耕作者が設置を希望する。また安価で配布する部分に分担金となるのか、設置をシルバー人材センター等へ委託した場合の費用は誰が支払うのか課題は多い。多くの高齢者が生活の楽しみの一つとして家庭菜園をしている。しかし営農でなく趣味であれば農地対策でなく高齢者対策での検討も必要と考える。農業対策

では個々の家庭菜園の支援を町の単独事業として実施する事は財政的にも難しい。まだまだ町内でも大きな団地で侵入防止柵設置についての話し合いがまとまらず、防止対策ができていない箇所もある。できるだけ効果的に補助事業を活用し、防止対策を実施する。

は、農業対策



泊畑フェンス

## サル、イノシシ侵入防止対策について

### 高齢者対策での検討も必要



上辻 亨 議員

# 非常勤職員にイターン者枠を設けては

## 設けるつもりはない



松山 義宗 議員

伊根町は農業、水産業、観光関連業等に関して定住に向けた助成を行う制度は吉本町政でさらに充実したと考える。

また、行政職員も町内出身者に偏ることなく町外からの採用もあり、十分ではないが、バランスが図られている。残念なことは職員が町内に定住できないことである。これは個々の事情があり決して強制できるものではないことは承知しているが、それだけ伊根町に定住する魅力が欠けているとの見方もできる。

一方、伊根町を望んで定住する、特にイターン者は生活の基盤をこの地で築くために助成を受けながらでも必死なのが現状である。

伊根町役場の中には数人の非常勤職員が努めている。その募集を目にしたことも

あり公募規定に沿っての募集であることは承知している。非常勤職員は期間限定であり、社会保障も充実していることから定住を望むイターン者には好条件であり、採用することがイターン者の生活の安定化に繋がると考えるが、

【答(町長)】非常勤職員の採用であつても町内者に限った採用試験はない。

従つてUターン・Iターン枠で採用する例もない。また、Iターンを条件に公募することが果たして適当であるかまた、この条件で良き人材が確保できるか、多少問題もあると考える。Uター

ン・Iターンであろうが、また町内外を問わず、公平な立場から相応して人材を募集することが適正かつ公平であると考え。



伊根町役場

【問】光回線の整備にあわせ、人の集まる機会が多い町の施設及び避難所、伊根浦地区の散策ポイントに対して積極的に公衆無線LANの整備をおこない、アクセスポイントを設置すべきだ。

【答(町長)】観光のみならず災害対策などの視点からも整備を急ぐ必要があると考える。整備に当っては、最初は観光客の多い伊根浦地区をエリアとして優先的に進めていくべく、事業者にも早く町内に光回線を整備してもらえよう要望していく。

【問】職員の町内居住を増やしては

【答(町長)】職員の町内居住の増やしては、職員の町内居住・移住を増やすべきだ。

【問】日本遺産登録は

【答(町長)】地域の風土に根ざし世代を超えて受け継がれている世界に誇るべき伊根の舟屋を更に地域が主体となつて総合的に整備・活用し、国内外に戦略的に発信し、地域の活性化を図るため、「日本で最も美しい村」連合の取組とあわせ、当町に

おいても、日本遺産の登録を目指すべきだ。

【答(町長)】京都府当局とも十分相談・協議し指導を仰ぎ、また学識経験者等の専門家の意見も聞く中で、認定基準に沿った申請が出来るのか、文化庁の認定をい

ただける可能性はあるのか、検討していく。

【問】職員募集の町内居住枠の新設や空き家を職員住宅として借り上げるなど、職員の町内居住・移住を増やすべきだ。

【答(町長)】採用試験の町内居住枠の新設は考えていない。賃してもらえぬ空き家を求めているが、当町の希望に合う住宅は容易に貸してもらえない現状がある。移り住んでほしい、住み続けてほしいと願っている。職員だけでなく、さまざまな人々が本町の良さを理解し、好きになつてもらいたい。

当地で就業し、町内・近在で仕事に就く事により定住してもらおう行政運営を進めていく。

【問】大浦から亀山間府道整備の現状は

【答(町長)】地元の見解や熱意ややる気を確認し、その後の対策を提言していく。



Wi-Fi

# 町施設に公衆無線LAN (Wi-Fi) 設置を

## 事業者に早期整備を要望



濱野 茂樹 議員

町施設に公衆無線LAN (Wi-Fi) 設置を事業者に早期整備を要望

# あの一般質問、その後どうなった？

教育施策の拡充を（平成26年9月定例会）

子育て支援策として、義務教育の無償化を進めるべきでは。

国の補正予算の対象案件となったことから平成27年4月から小学校、中学校の、教材、給食費、修学旅行費の無償化など、子育て支援策を重点的に行う。



## 委員会報告

### 【産業建設委員会】

・海の京都

4月16日、海の京都の進捗状況について、伊根町観光協会の担当者に説明を求めた。

・伊根町へ定住してきた方々との意見交換会

5月1日、本庄地区公民館にて伊根町内で農業をされ定住している4名の方々と、定住するに至った経過、伊根町に定住しての感想、町外から定住する上での問題点などについて、意見交換会を開催した。

### 【総務委員会】

5月1日 役場第1会議室

観光客増大に向けた、景観計画（屋外広告物等の規制関係）の策定進捗状況と策定後の伊根浦舟屋群の町並みについて、担当課より資料により説明を受けた後に、政策提言等について意見交換を行った。

6月10日 ほっと館にて開催

政策提言に向けて以下のテーマにて、委員5名、事務局2名にて議論、意見交換した。

・広聴、公聴の在り方について

これまでの町内並びに、他市町村のパブリックコメントの実績を検証した結果、

全自治体のホームページ上にパブリックコメント欄が設置してあるが、投稿件数の少なさから実質的な機能は果たせていないのが現状と判断した。

各自治体や、各々の地域性、または案件によっては住民アンケート等により公聴、広聴の手段がとられることについても議論した。

・広報の在り方と、広報誌の充実について  
各委員会をはじめとした会議内容の紹介、積極的な議会傍聴呼びかけを議論し、実現していくための今後の方向性について検討した。

・会議の公開について  
町民各層に広く公聴され、町政に関心を持っていただくために議会、及び各委員会の開催日、開催時間の在り方を検討した。また夜間、土日に議会開催している他の議会の事例を検証し、今後の当議会の目指すべき方向性について議論した。  
次回開催は、光ファイバーを使った高齢者対策と、広報の在り方、委員会主催の研修先について議論する事とした。

### 【正副議長・常任委員長会議】

6月18日 ほっと館にて開催

今後の適正議員定数、定住促進策、少子高齢化における福祉策、空き家問題等についてより深く研究し政策提言していくため、参考となる管外視察先について協議した。

## ヘイトスピーチ（差別扇動）被害に対する意見書

近年、日本国内ではヘイトスピーチが大きな社会問題となっている。国連人種差別撤廃委員会では、日本政府に対し毅然と対処するよう勧告するなど、国際社会からも厳しい指摘がなされている。2009年の京都朝鮮第一初級学校に対する襲撃事件では、昨年12月9日の最高裁決定により、人種差別撤廃条約違反と高額な損害賠償を認めた大阪高裁判決が確定したところである。このような事例のヘイトスピーチは、単なる侮辱にとどまらず、在日韓国・朝鮮の人々に対する社会的排除と暴力であり、決して許されるものではない。今後も人権啓発を進め、人権を守る文化を尊重し、人々が公平で平等に安心して生活できる環境を充実発展させることが望まれる。規制については、表現の自由の保障など、複雑な要素が入った難しい課題を抱えていることは承知しているが、国におかれては、ヘイトスピーチ被害に対し、有効な調査及び対策を早急に実施することを強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成27年6月18日

提出者 上 辻 亨

賛成者 松 山 義 宗 ・ 大 谷 功

審議の結果、全員賛成で可決し、衆議院議長・参議院議長他関係大臣に送付しました。

## 国会における憲法論議の推進と広く国民的議論の喚起を求める意見書

日本国憲法は、昭和22年5月3日の施行以来、国民主権、平和主義、基本的人権の尊重の三原則の下、我が国の発展に重要な役割を果たしてきた。この三原則こそ、現憲法の根幹をなすものであり、今後も堅持されなければならない。現在、我が国を巡る内外の諸情勢に大きな変化が生じていることに鑑みれば、現憲法において、直面する諸課題から国民の安全を確保し、福祉の向上を図る内容を加えることなどが求められる。このような状況の中、国会でも、平成19年の国民投票法の成立に伴い、憲法審査会が設置され、憲法論議が始められている。憲法は、国家の基本規定であり、その内容については、国会はもちろんのこと、主権者である国民が幅広く議論し、その結果が反映されるべきである。ついては、国におかれては、日本国憲法について、国会において活発かつ広範な議論を推進するとともに、広く国民的議論を喚起することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成27年6月18日

提出者 和 田 義 清

賛成者 濱 野 茂 樹 ・ 佐 戸 仁 志

審議の結果、賛成多数で可決し、衆議院議長・参議院議長他関係大臣に送付しました。

反対議員：大谷 功、山根朝子

《反対》 大谷 功議員  
 憲法を議論すること自体に異議はない。憲法論議に関して今、必要なことは、憲法が目指す社会に現実社会が追い付いていないことについて、なぜそうなのか、いかにして追いつかせるかを議論することが、今求められているが、今回の意見書はそういった内容ではない。

意見書で推進している憲法論議は、まさに海外で戦争する国になるため、国民を強力に統治するための立憲主義をなすがしろにする、改憲に向けた議論のことである。  
 世論調査でも明らかのように国民は9条改憲を望んでいない。今こそ改憲論議より、憲法9条を活かした平和的外交こそが必要であることを強調し本意見書に反対する。

《賛成》 濱野茂樹議員  
 自分たちの国の憲法は自分たち自身で

本意見書の内容で、至極当然のことに反対する理由が存在するのか。我々の国の憲法をどうするのか、それはまさに我々、日本国民一人一人がしっかりと議論をして決めていくことである。議論の結果ならともかく、最初からとにかく議論をする。とまかりならぬという、まるで、言論弾圧まがいなことを許してよいのか。それこそこの当用憲法の精神にも反することである。憲法第96条にはしっかりと改正規定が存在している。憲法を一字一句変えてはならないと考える方は、なぜこの改正規定が存在すると考えているのか。今、私たちがやらねばならないことは、日本を取り巻く環境、時代の変化に対応した憲法にしていくことである。そして何より、日本人の誇りを取り戻すためにも、日本の歴史や伝統、文化に基づき、自分たちの国の憲法は自分たち自身で作っていくということこそが日本の未来を切り拓いていくのだと確信しており、賛成討論とする。

## 議員町内視察



伊根浦平田公衆御手洗

6月2日議員町内視察を行い、平成26年度完成事業箇所、平成27年度事業実施箇所の主なものについて現地で担当課より説明を受けました。



完成間近 痛入バイパス



伊根中学校グラウンド整備事業



海の京都関連施設予定地（平田網場ヶ崎）



亀島本庄浜線改良事業（大原地内）

## 桜が丘運動公園周辺草刈り

6月2日の夕方から筒川地区の皆さん、町職員、町会議員でスポーツチャレンジフェスティバルに向けて、桜が丘運動公園周辺の草刈りを行いました。





### 伊根町の深い魅力

伊根町教育委員会教育長賞

伊根中学校 1年

和田 日菜子

「へえ。こんな道もあったんやあ。」

私は地域を散歩することが好きだ。それは、新しいことを発見できるからである。毎回同じ道を通っても景色が変わったり、畑の野菜を調べたりするのが楽しい。だが、その中でも特に好きなのは自分の知らない景色やモノに出会うことである。これは多分、ほとんどの人にあてはまることだと思う。だから、伊根町と聞いて、まず思い浮かべるのは舟屋だと言う人も、もともと伊根町全体を見てほしい。有名な伝説、様々な特産品、名所など、魅力的なモノがたくさんあ

る。初めて千枚田を見たとき、伊根町にもこんなにキレイな絶景スポットがあるのだと感動した。だが、絶景スポットは他にもたくさんある。私が特に感動したのは、小学生の時にサマーキャンプという行事で、連れていかけてもらった海の洞窟だ。岩のてっぺんに穴があいていて、そこから差し込む太陽に光が海に反射して、とてもキレイで感動した。そして、布引きの滝。

布引きの滝は、「まぼろしの滝」とも呼ばれている。普段は水があまり流れていないのだが、雨の日や、雨の日の次の日は水がよく流れていて、その流れ方は本当に見ている者を引き寄せる。だからずっと見ているとあきないのだ。四季によって周りの景色も変わる。春は桜が咲いて所々ピンク色になり、夏は水々しい緑の葉で、より布引きの

滝が目立ち、秋は紅葉が始まり、一面赤や黄、茶色など様々な色に変化し、冬は雪が降り、真っ白になるがしっかりと水は流れていて、それに霧がかかり、とても美しい。どの四季もとても美しく、深い魅力がある。



(画名)とも半年は受賞三時

伊根町観光協会賞 本庄小学校6年 菱田 慶次郎

### 広報編集委員

- 委員長 大谷 功
- 副委員長 佐戸 仁志
- 委員 和田 義清
- 委員 上辻 亨

### 編集後記

暑中お見舞い申し上げます。これからの時期、暑さがピークになってきます。熱中症にならないよう十分対策をとっていただきたいと思います。炎天下、作業中のみならず、室内で発生する熱中症も最近クローズアップされています。家にいるときでも暑いときはエアコンなどを使い、又、水分補給も定期的に行うことが予防になるようです。町民の皆様、体調を崩すことなく暑い夏を元気に乗り切ってくださいませますよう議員一同願っております。

